

野外サークル 10月度 「二上山に登る」

北側：雄岳（517m）、南側：雌岳（474m）

令和8年10月9日（金）

（コース）約14km

二上山駅～上ノ池横登山口～六合目～大津皇子墓
～葛木二上神社～雄岳山頂～馬の背
～雌岳山頂＜昼食・諸連絡＞
～岩屋への分岐点～鳥谷口古墳～當麻山口神社
～當麻寺～近鉄当麻寺駅

Photo by

K.Fujimoto（18期）

H.Kiyohara（15期）

集合： 二上山駅



上ノ池横登山口へ



上ノ池横登山口～六合目











大津皇子墓（おおつのみこのはか）

- ・天武天皇（てんむてんのう）の第3皇子に生まれたが、あまりに勇敢で聡明な資質のために24歳で謀反の罪をきせられ、死罪になった。
- ・皇子の死を嘆き悲しんだ
姉の大伯皇女（おおくのひめみこ）が詠んだ
「うつそみの 人なる我や 明日よりは
二上山（ふたかみやま）を 弟背（いろせ）と我が見む」
という万葉集の歌は有名。





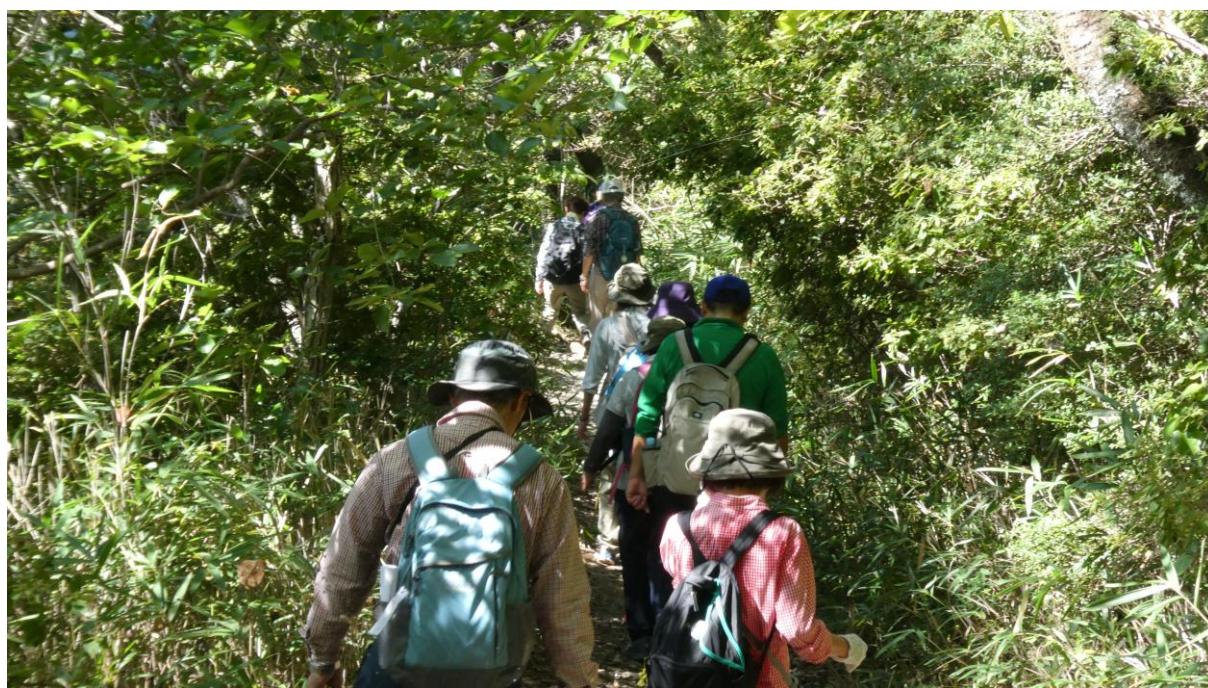
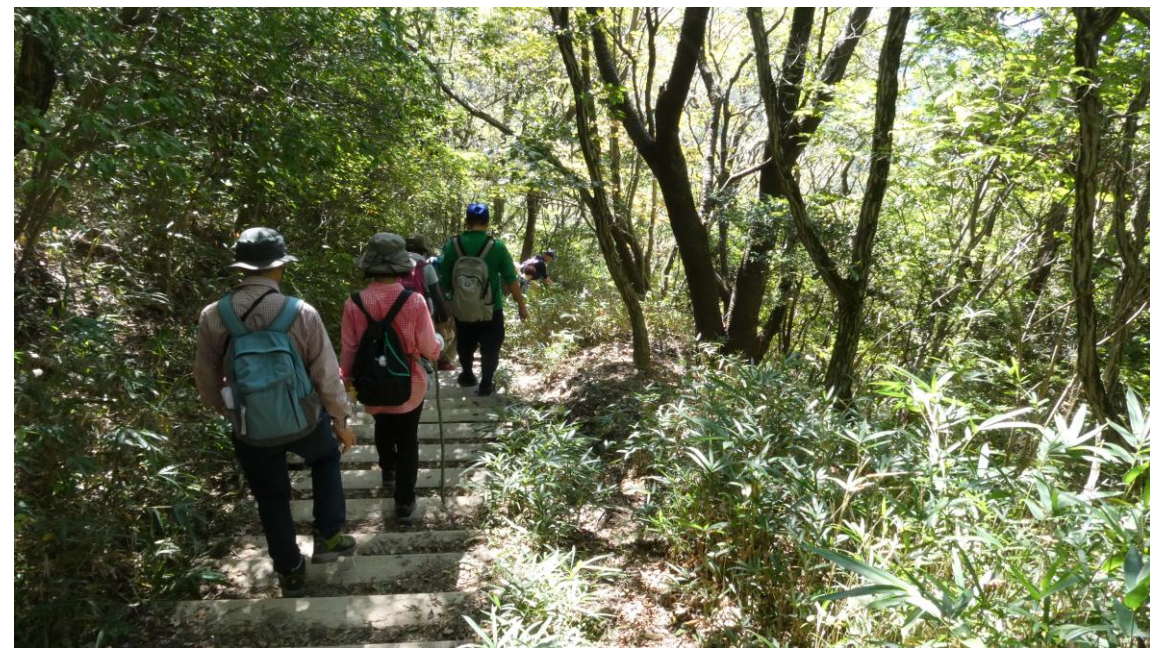
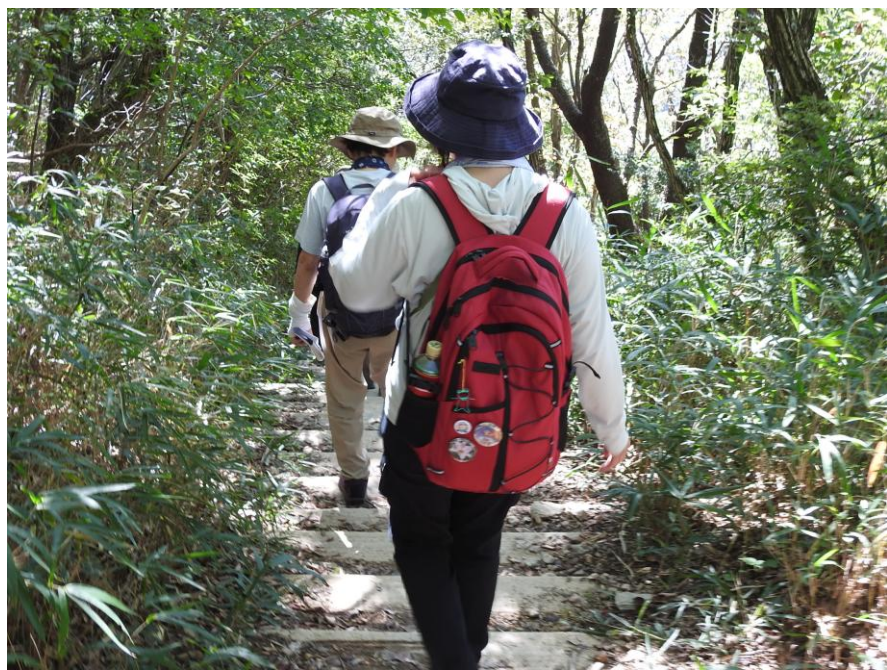
葛木二上神社（かつらぎふたかみじんじゃ、かつらぎにじょうじんじゃ）

- ・二上山（雄岳）山頂に鎮座の神社を式内大社に比定され、豊布都霊神と大国魂神 を祀る。
- ・『三代実録』貞観元年（859）正月二十七日に神階従五位下から従五位上に昇叙され『延喜式』神名帳には、大社に列せられている。
- ・明治初年の神仏分離まで、当麻寺がこの社の別当寺であった。
- ・御祭神： 豊布都霊神 （とよふつのみたまのかみ）
国魂神 （おおくにたまのかみ）

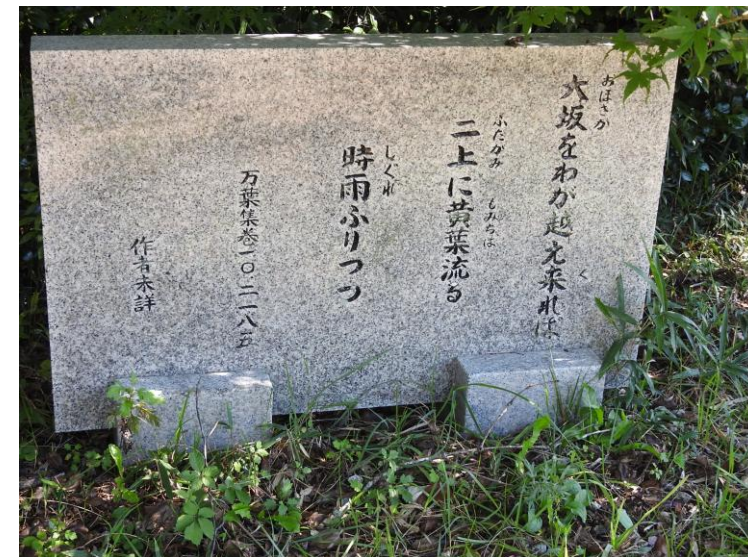


雄岳山頂 (おだけ) (517メートル)

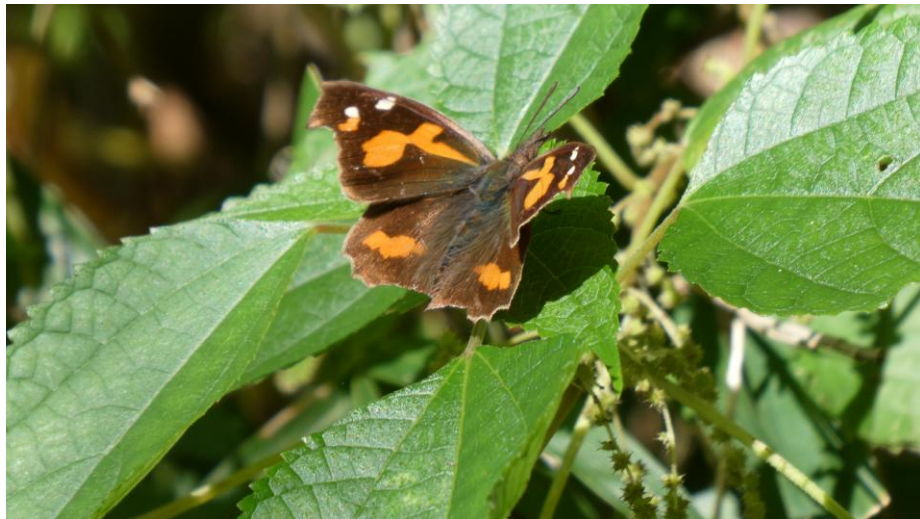




雌岳山頂（めだけ）（474メートル）＜昼食・諸連絡＞



岩屋への分岐点



テングチョウ



祐泉寺（天台宗）





太龍寺（真言宗）



茶ノ木の花



シロハギ

鳥谷口古墳へ



鳥谷口古墳（とりたにぐちこふん）

とりたにぐちこふん
けんしていしせき 県指定史跡 鳥谷口古墳
Historic Site Designated by Nara Prefecture: the Toritaniguchi Burial Mound

場所: 葛城市大字染野字鳥谷口679番地
時代: 古墳時代終末期(7世紀後半頃)

この古墳は約1300年前に築造された、一辺が約7.6mの方墳です。墓室は横口式石槨という構造で、南側に開口部があり、二上山産出の凝灰岩が使用されています。また、底石や北側の側壁には家形石棺の蓋石の未成品を利用するなど、特異な石槨構造となっています。

指定年月日: 昭和62年3月10日
平成31年3月 奈良県教育委員会



鳥谷口古墳





當麻山口神社 (たいまやまぐちじんじゃ)

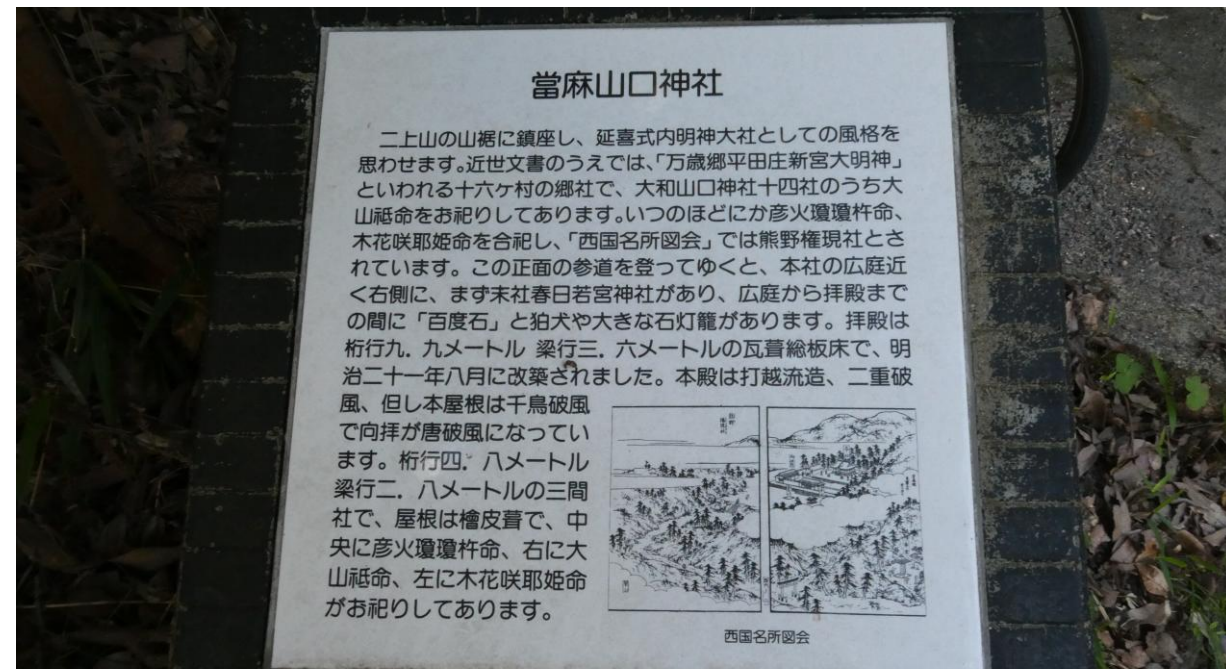


カラスウリ





キンクロハジロ



當麻寺 (たいまでら)

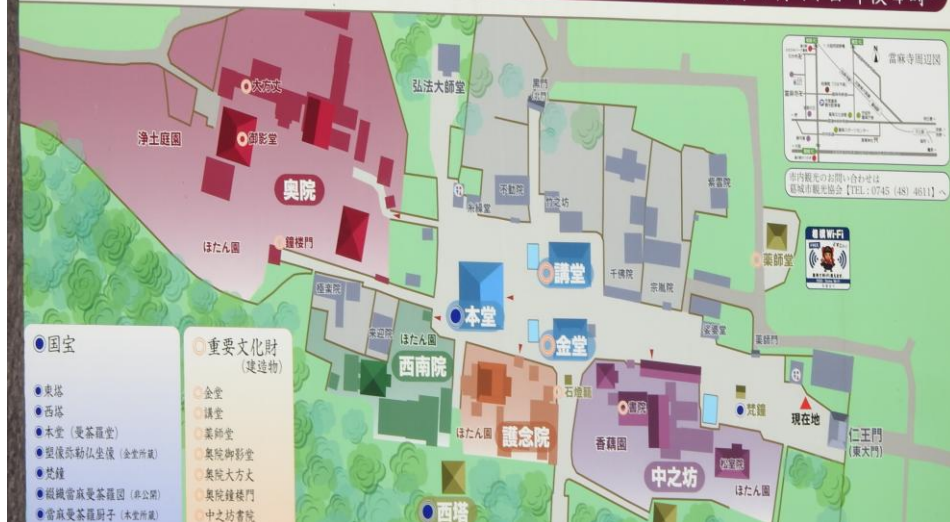
- ・ 612年に聖徳太子の弟である麻呂子親王（まろこしんのう）が創建した寺（万法蔵院）を、その孫に当たる當麻国見（（たいま / たぎま の くにみ）が現在の場所に遷造し、685年に七堂伽藍を完成させてと言われている。



日本最古の梵鐘

當麻寺境内図

境内はご自由に散策をお楽しみください。
(本堂・金堂・講堂・各塔頭の拝観はそれぞれ拝観料が必要です)
・當麻寺のお練り「聖衆來迎練供養会式」毎年4月14日午後4時～



當麻寺境内



境内のキンモクセイ

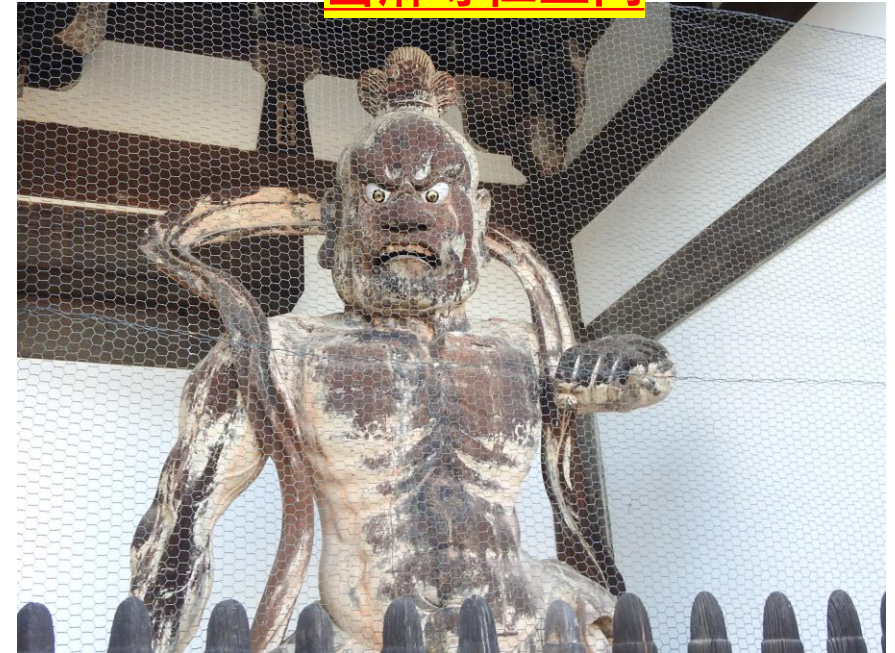




当麻寺内で解散

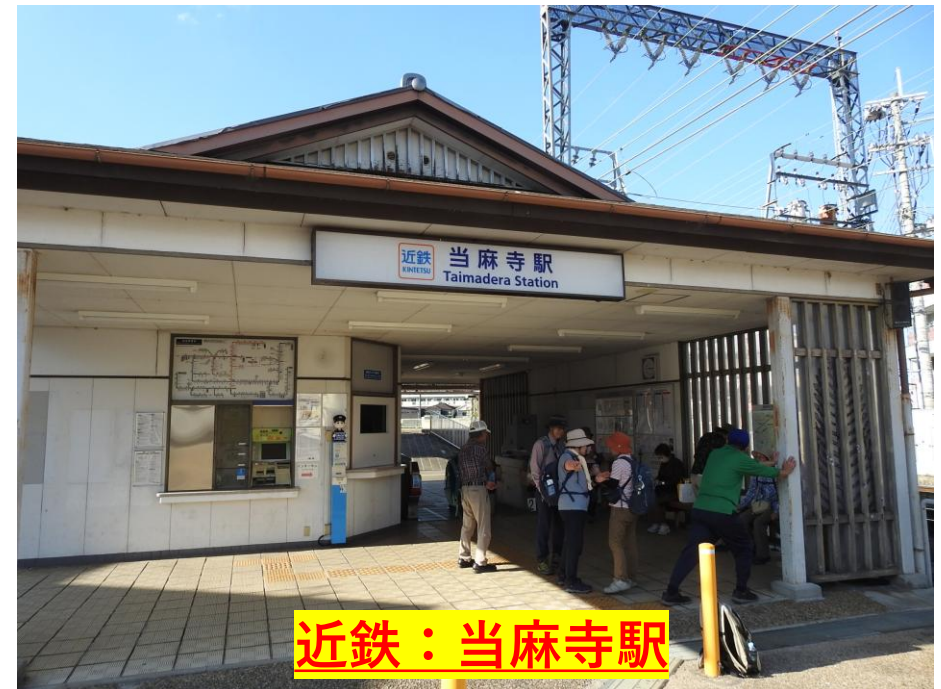


当麻寺仁王門





相撲館へ



近鉄：当麻寺駅

ヤマガラ（昼食：休憩時に撮影）

